

令和5年度事業報告書

〔 令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで 〕

I 事業の実施状況

令和5年度は、4月に日銀の新総裁が就任し、7月に政策の修正を行ったことで長期金利がおよそ10年ぶりとなる水準まで上昇、3月には2016年1月に導入したマイナス金利が解除される等、これまで続いてきた低金利状況から大きな転換点になる1年となった。

それに対応する形で、高利率の債券を複数購入する等基本財産の効率的な運用を図り収入の確保に取り組むとともに、引き続き管理費等の経費節減に努め、限られた運営資源の活用を行った。

一方、事業運営については、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の区分が、2類から5類へ変更される等、社会経済情勢の変化に対応した事業展開を基本的な視点とし、令和5年3月に改訂された第2次中期経営計画【改訂版】（令和2年度～令和6年度）に基づき、当協会の目的である地域における文化の高揚及び地域の振興を図るための諸事業を実施した。

1. 市町村等振興助成事業

・地域振興事業

地域の特性を生かした個性豊かな地域づくりを推進するため、市町村等が行う事業を対象に助成を行うものである。（原則として国及び県の補助対象となるものを除く。）

令和5年度は、41市町村及び3広域市町村圏事務組合へ92件、8,437万7,811円の助成を行った。なお、事業項目別の件数、市町村実施数、広域圏実施数、助成額は次のとおりである。

事業項目	助成件数	助成先	金額（円）	備考
ア）地域活性化推進事業	11	9市町村 2広域圏	12,326,000 2,448,635	市民大学事業、イベント事業等
イ）地域産業振興事業	4	4市町村	5,250,000	産業まつり、プロモーション事業等
ウ）地域環境保全推進事業	5	5市町村	6,545,000	環境調査事業等
エ）地域文化振興事業	20	19市町村 1広域圏	16,405,622 1,500,000	ミュージックフェスタ開催事業、児童生徒交流事業等
オ）地域国際交流推進事業	12	12市町村	13,485,404	海外短期留学派遣事業等
カ）地域情報化推進事業	3	3市町村	3,615,000	道路台帳図電子化事業等
地域学力向上支援事業	37	37市町村	22,802,150	地域学力向上支援事業等
合計	92	41市町村及び 3広域圏	84,377,811	

2. 地域活性化助成事業

県内の地域づくり団体等が、地域の振興及び活性化を目的として、地域づくりの担い手となる人材育成及び地域づくりに関する情報の共有等を図るために実施するワークショップ、フォーラム、セミナー等の交流事業の企画に対し所定の審査を経て選定された事業に助成する事業である。

令和5年度は、地域づくり団体等が行う19事業に対し合計497万円の助成を行った。

また、採択後に事業実施の確認が取れないとして、交付決定取消団体が1件あった。

平成29年度から開始した優良事例の表彰について、副賞として表彰した団体の職員を地域づくり団体全国研修交流会に派遣しており、令和5年度は令和4年度表彰1団体の職員を地域づくり団体全国研修交流会島根大会に派遣した。

また、令和5年度分の表彰として令和4年度の地域活性化助成事業を活用した団体の中から特別賞1団体を決定した。

なお、令和5年度の助成団体及び事業内容は、次のとおりである。

【前期】

No.	団体名	事業名	事業内容
1	那覇市国際蔡温橋通り商店街振興組合	“しまくとぅば”の継承、普及	「しまくとぅば」を使う人々が減少傾向にある中、未来を担う子どもたちと楽しみながら広く普及させる。しまくとぅばを使用し、かるたを作るワークショップを公民館や、近隣小学校にて実施し学んでもらった。また、大きな短冊を制作し、安里川に鯉のぼりのように吊るし触れさせ、興味、関心を持たせた。
2	美崎町エリアマネジメント	美崎町まちづくりセミナー	美崎町への関心と可能性、地域活性化を目的に県外からまちづくりについて経験豊富な講師2名を招き「ウォークブルタウン美崎町の実現に向けて」と題し、先進事例の紹介や今後のまちづくりの進め方等について講演を行った。地元市民や観光で来島した方々に美崎町やその周辺を回遊し滞留していただけるまちづくりに繋がりそうな実りあるセミナーだった。
3	米須自治会	米須青年エイサー50周年記念事業	米須地域では、今年50周年を迎える青年エイサーが脈々と受け継がれており、本事業を活用した45周年記念事業は盛況となった。昨年までは、コロナ禍のため規模を縮小し開催した。地域はもちろん、他の地域の人々にも米須のエイサーに参加してもらい青年会存続に繋げる。
4	みんなのあそびば	子育て世代のための癒しのワークショップ	心にゆとりをもって日々の生活を豊かに過ごしてもらおうことと、社会貢献を目的に託児付きのイベントで子育て中の方にも参加できるボランティア活動を行った。大人の「食育」「体育」「ゴミ育」等のイベントを用意し好きなワークショップに参加できるようにした。同じ境遇のママさん達との交流もでき、貴重で贅沢な時間を過ごすことができた、との意見もあり今後も継続できるよう実施場所や予算の検討が必要だと考える。
5	サンスマイル	うるまキッズまつり	子どもたちに、実際に商品が販売されるまでの過程をまつりへの出店という形で学んでもらった。仕入れ、販売、売上、利益などお金の教育を通して、マネーリテラシーの醸成を促す。学外の学びの場を通して、青少年健全育成を行い地域活性化と未来のうるま市へ貢献した。
6	ユナムンダクマ協議会	あつまれ！こどもの日 GWこどもまつり ~与那において・親子であそぼう~	過疎化が進む地域であるが、若い人が住みたく、子育てしたくなるような地域づくりを目指し、子どもたちを主役としたイベントを実施した。地域の木材や川を利用し、自然と親しみ遊ぶことで与那の魅力を再認識してもらい、外部よりイベント指導者を呼ぶことで関係人口を増やすことに繋げた。次回からは開催日数や体験コーナーの数・内容を検討する必要があると感じた。
7	本部町瀬底行政区	瀬底島住民憲章制定事業	ホテルや、瀬底島一周線道路の完成に伴い観光客が増大したため、島の自然的景観などを守り次世代へ継承するべく住民憲章を制定することとした。地域住民と会合を持ち説明会、意見交換会を重ね住民憲章の制定を行った。また、リーフレットを制作し区民、ホテル、観光客に配布し周知した。

8	(一社) 読谷村観光協会	読谷村コスモスフェスティバルの整備・開催	昨年、お試し実施したコスモス畑に来村者が多く訪れ、継続を期待されたため、本格的にフェスティバルを開催し今後の村のPRに繋げた。また、コスモス畑の近くに村の魅力観光パンフレットを設置し、伝統工芸品や食、観光体験などを地域住民と観光客に発信した。今後も最新の情報を掲載することで読谷村の魅力を発信するツールとして活用予定である。
9	北中城村の子どもの居場所を考える会	「ゆめパのじかん」上映会	子どもたちや不登校予備軍の子どもが、学校、家庭以外で過ごせる居場所が必要であることを、地域住民に理解してもらうことを目的とし、事例である「川崎子ども夢パーク」の映画を鑑賞、合わせて子ども向けのワークショップやプレイパークを体験してもらうことで認知を図った。議員を交えたトークセッション等も行ったため、地域での取組という意識が全体に生まれた。
10	坂田自治会	まちづくりフォーラム 一坂田区の道路問題とまちづくりを考えるー	坂田の好きなところや課題等を子供会議・女性会議・全体会議でそれぞれ地域づくりのアイディアについて話し合うワークショップを行った。また、地域づくり講話会を開催し地域の歴史について区民の理解を深め、その際に参考資料として作成した「坂田地域散策マップ」は地域の魅力再発見に寄与した。
11	飛び安里研究会	飛び安里関連事業	「飛び安里」という、琉球王朝時代の歴史的な偉業を多くの人に啓蒙・伝承し、若い人に夢を持つことの大切さとそれを実現させるための努力の尊さを学んでもらうことを目的とし、飛び安里まつりを開催した。マスコミの取材でも大きく報道され、飛び安里を活用したまちづくりを展開し地域活性化に繋げた。
12	南風原町青年連合会	第7回南風原町青年フェスタ ～第15回青年芸能祭～	南風原町内の青年会を中心に、沖縄県南部地区青年団連絡協議会と連携して文化交流のイベントを行い、芸能や産物をPRすることで、地元の良さを再確認し、地域活性化に繋げた。また、町外の伝統文化に触れることでそれぞれの文化の違いや良さに気づき伝統芸能の保存継承に対する気運の醸成にも繋がった。
13	志多伯自治会	アフターコロナにおける地域行事再開に向けた活動事業	地域で300年以上の歴史を持つ獅子加那志豊年祭が継承されており、2024年に6年ぶりの開催となるが、コロナ禍により地域の方々が集まりにくい現状が続く不安を覚えていた。来年に向け、三線教室や舞踏・棒術教室を実施し、ブレ豊年祭を行い地域行事の再開と参加しやすい体制をつくった。

【後期】

No.	団体名	事業名	事業内容
14	琉球芸能出前公演実行委員会	琉球芸能出前公演 vol.5 in 屋富祖公民館 2023	浦添市経塚自治会と協力し、公民館を活用し地域に特化した琉球芸能の演目を創作・演舞し、地域住民の交流促進を図った。また、初めて鑑賞する方にも分かりやすく伝統(芸能)文化に触れるきっかけを作ると共に、実際に出演者が地域を散策し、その風景や文化を取り入れ、その地域にしかない創作演舞も行った。
15	沖縄市PTA連合会	映画「遠いところ」鑑賞&上映後トークイベント	沖縄の貧困や若年出産をテーマにした映画、「遠いところ」を上映し、沖縄市のPTAに鑑賞してもらうことで青少年の健全育成を図った。また、映画のプロデューサーを招聘しトークイベントを開催することで理解を深め、保護者同士や家庭でも話し合える機会となるよう働きかけた。
16	高江洲ロボットクラブ	「未来エンジニアプロジェクト！」 in 高江洲ロボットクラブ	「エンジニア」が将来のなりたい職業ランキングで上位に選ばれる中、大学の専門知識のある講師を招聘し、子供たちにエンジニアを体験させる。プログラミングやロボット製作、ロボットコンテストへの参加を通して、地域会員と共に地域一体となって青少年健全育成と「未来エンジニア」の人材育成を行った。
17	つはこ花咲かす会	第2回コスモスマつり	ハッピー広場を文字通りハッピー広場にするため、コスモスを育て、開花時期にコスモスマつりを実施した。また、コスモスマつりでは、地域の団体に出演してもらい歌や踊りで観覧者を増やし、南城市内外の注目を集めることで今後の環境整備の継続を図った。

18	一般社団法人 北谷町観光協会	北谷町観光まちづくり推進 SNS・HP活用セミナー	人材の確保が困難である中、町民を主体とした観光振興や観光まちづくりを進めるために、観光人材の育成が急務である。SNS・HPの活用セミナーを開催し、効率的で費用対効果の高い情報発信スキル・ノウハウを提供し、町民及び町事業者が主役となり発信することで地域振興及び活性化に貢献した。
19	八重瀬町ポッチャ大会実行委員会	地域住民の健康づくりと交流を目的とした「ポッチャ」普及活動	パラリンピックが開催され、スポーツやレクリエーションへの関心が高まる中、誰もが共に楽しめる「ポッチャ」に注目が集まっている。町内の福祉団体、学校、企業、地域コミュニティ等へ呼びかけを行い、ポッチャの普及と健康増進に向けた講演、説明会、大会を行い、地域住民の健康づくりと特に若い世代との交流を図った。

3. コミュニティ活動促進事業

地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛上げることを目指すため、市町村又は市町村が認めるコミュニティ組織が、コミュニティ活動に直接必要な備品の購入に対し助成する事業である。

令和5年度は、4団体(宜野座村漢那区、伊江村阿良区、座間味村阿佐区、渡名喜村)に150万7,000円の助成を行った。

4. 地域振興研究助成事業

県内の研究機関等が行う、沖縄の地域振興及び文化の高揚に寄与することを目的とする政策提案型の研究に対し助成する事業である。

令和5年度は、市町村へのアンケートを踏まえて協会が設定した研究テーマに沿った内容の研究を公募し、採択した『沖縄県における放課後児童健全育成事業に関するモデル研究と教育現場の現状(キリスト教学院大学)』、『地域の活性化を図る行事・伝統文化の活用と継承(キリスト教学院大学)』、『沖縄におけるルーツ・ツーリズムから地域づくりと沖縄移民に関する教育基盤づくりの一考察(キリスト教学院大学)』をそれぞれ研究テーマとする3件へ79万9,896円の助成を行った。

5. 地域づくりイノベーションプラットフォーム構築事業

県内の地域づくり団体及びその助成団体等で情報や課題を共有し、各団体間のネットワークの拡充強化を図ることで、地域活性化を推進する事業である。

令和5年度は、県内の助成金情報と地域づくり事例等を紹介するメールマガジンを配信した他、伴走支援を希望する地域づくり5団体へ向けて、協会に所属する地域振興専門アドバイザーを派遣し、協会職員と共に伴走支援を行った。

6. 地域人材育成・課題解決支援事業

琉球大学と令和4年1月14日付けで締結した「包括的連携に関する協定」に基づき、1年目は琉球大学が実施する「初級地域公共政策士」の資格教育プログラムの受講費用を助成し、2年目は地域の課題解決を図る事業の企画立案・遂行に対して伴走支援を含む助成を行うことで、沖縄県における地域づくりをリードする人材の育成を目的とする事業である。

令和5年度は、事業2年度目となる合計4名(自治体職員2名、地域づくり団体構成員2名)へ163万6,250円の助成および協会職員による伴走支援を行った。

7. 認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり（休眠預金活用事業）

外部資金活用の一環として、（一財）日本民間公益活動連携機構（略称「JANPIA」）が公募・助成する休眠預金等活用事業へ、（公財）みらいファンド沖縄（幹事団体）とのコンソーシアム協定に基づく構成員として参画し、令和3年度に資金分配団体として採択、令和4年度より実施している事業である。

令和5年度は、コンソーシアムの構成員として、高齢者や認知症の方だけでなく誰もが住みやすい魅力的な地域社会の創出を図る課題解決事業の実行団体となる民間5団体（那覇市、浦添市、南風原町、西原町、北中城村）の伴走支援を行った。

II 理事会・総会等運営状況

1. 理事会

開催年月日	審議事項等
令和5年5月25日（木）	（業務報告）代表理事の職務執行状況報告 （1）令和4年度事業報告及び決算承認の件 （2）任期満了に伴う役員の選任の件 （3）令和5年度定時総会開催の件
令和5年6月19日（月） （書面決議）	（1）代表理事（会長及び専務理事）選定の件
令和6年3月6日（水） （書面決議）	（1）令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件 （2）特定費用準備資金保有（案）の承認の件 （書面提供）代表理事の職務執行状況報告
令和6年3月14日（木） （書面決議）	（1）理事の選任の件 （2）臨時総会の決議の省略についての承認の件

2. 総会

開催年月日	議決（承認）事項
令和5年4月1日（土） （書面決議）	（1）理事の選任の件
令和5年6月19日（月）	（1）令和4年度決算の承認の件 （2）任期満了に伴う役員の選任の件 報告事項 ・令和4年度事業報告の内容報告の件

3. 事業調査委員会運営状況

開催年月日	審議事項
開催なし	